

つくだ

学校だより No.7
青森市立佃小学校
令和3年9月24日発行
◆教育目標◆
あかるく・かしこく・たくましく

全校児童数466名
男子 223名
女子 243名

佃っ子のよさってなんだろう・・・

校長 山田 彰利

6年生対象の「全国学力・学習状況調査」。今年は5月末に行い、先日結果が発表されました。本県が高いレベルにいるのは、報道でご存じと思いますが、本校は、国語・算数ともに県の平均を上回るという結果を得ることができました。(右表)

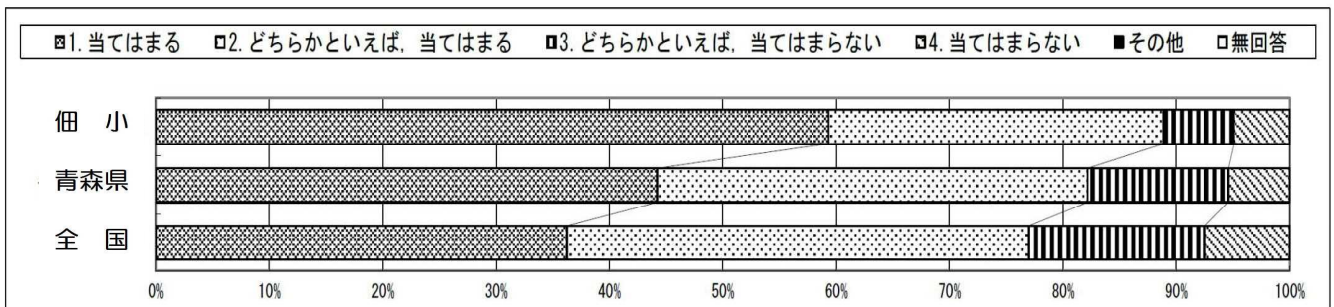
特に国語「話す・聞く」の領域については全国や県を大きく上回っています。本校では、伝え合う力を育てるため、グループやペアでの話し合い活動を重視した授業に取り組んでいます(フェイスシールドの着用など工夫して取り組んでいます)、そうした取組が実りつつあるとうれしく感じています。

	国語全体	言葉の特徴・使い方	話す・聞く	書く	読む
佃 小	73	73.9	88.5	71.0	56.4
青森県	69	75.4	78.0	66.7	48.0
全 国	64.7	68.3	77.8	60.7	47.2

	算数全体	数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用
佃 小	74	69.4	55.6	78.2	83.5	79.3
青森県	71	65.5	61.9	76.0	76.1	75.4
全 国	70.2	63.1	57.9	74.8	75.9	76.0

▲全国学力・学習状況調査 教科領域別の正答率(%)

さて、この調査では、学力以外に、個々の意識を図るアンケートも実施しています。その中で「自分にはよいところがあると思いますか」の結果が以下のとおりです。



肯定的に答えている子が9割近く。佃小の子、少なくとも6年生は、自己肯定感をもっている子が多い、ということです。先月書いた内容とは違う、うれしい結果ですが、まだそう思っていない子が数名います。その子の持ち味とか、その子らしさとか、そういったものもよいところと捉え、「自分ってなかなかいけるじゃん」と思えるように、日々、子供たちに接していきたいと思っています。子供はどこか一つが伸びると、付随して様々な面で成長を見せます。「よさ」の発見を突破口に、多方面での成長を応援したいものです。

この他にも、「学校に行くのが楽しい」93%(全国83%)、「友達と協力するのが楽しい」97%(全国94%)と、友達との触れ合いに喜びを感じている児童が多いようです。6年生の結果ですが、全校的にも同じなのではないかと。それは、次のような場面からも感じることで。

先日見たある学年の授業の一場面。発表はあんまり…という子が前に出て、たどたどしく説明しています。それに対して別のある子、「そう、そう、がんばれ」とでも言わんばかりに一生懸命うなずきながら聞いていました。頑張っている子への応援が自然に出てくる、そんな姿を春から今まで至る所で目にしてきました。だから、学校が楽しいのだろうな、協力するのが楽しいのだろうな、そう感じています。これからもそんな学校であるために、努力して参ります。

【9月の参観デー中止のお知らせ】

当初のお知らせでは、「学校に来ていただく形はとりません」とご連絡していましたが、様々な条件・日程等を考慮した結果、中止と決定しました。申し訳ございません。12月の参観日のもち方については、後日お知らせします。